

船井情報科学振興財団 6月留学報告書

荒川 陸 *

Carnegie Mellon University, School of Computer Science
Human-Computer Interaction Institute

June 2022

2021年8月の頭に渡米をして、CMUでコンピュータサイエンス分野（ヒューマンコンピュータインタラクション、HCI）の博士課程を開始しました。留学生活第二回目の報告書です！

1 研究

1.1 CMUでの研究

CMUではSmashLab (Smart Sensing for Humans) という研究室に所属していて、主にヘルスケアの文脈でのコンピュータ技術の活用について研究しています。現在取り組んでいる2つのプロジェクトは、どちらも医療機関の人たちとのコラボレーションプロジェクトです。修士までの自分の研究は、大雑把に言うと、アイデア勝負で、とにかく自分が面白いと思ったコンピュータシステムを作って、それを研究室の実験で評価するというのが主でした。¹⁾しかし、CMUで行なっている研究はヘルスケアにおける明確な課題があり、それを実用的に解くにはどうするかを考え、実際の患者さんのデータを元に評価を行う必要があります。そのため、今までの自分の研究スタイルとは異なり、日々学びながらワクワクしながら進めています。実際の医療機関の人たちとのコラボレーションということもあり、コミュニケーションの重要性を痛感したり、また出版までに時間がかかるなど思ったりしつつも、実社会の問題を直接解いているという手応えがあります。

1.2 学会参加@ニューオーリンズ

5月の頭には、ニューオーリンズで開催されたACM CHIという学会に参加して、論文発表をしました。この学会はHCI分野で一番大きい学会で、なんと今年は2年ぶりに対面での実施（オンライン参加を含むハイブリッド形式）でした。自分が初めて参加した国際学会は2019年のCHIで、それはスコットランドのグラスゴーで開催されました。今回は2,000人近い人が現地参加されたよ

<https://rikky0611.github.io/>

¹⁾日本語で解説しているブログはこちら: <https://note.com/hciphds/>

うで、とても盛り上がっていましたが、その一方で一部ではコロナのクラスターが発生するなど、まだ対面学会のフルオープンには難しい状況なのだなど実感させられました。対面参加のメリットとしてはやはりソーシャライズが捗ることが挙げられます。CMU の最初の授業で習った「ソーシャライズのためならセッションは参加しなくても良い」という教えに従って、色々な人と話すことに注力して、セッションは強く興味を持ったものだけ数個参加した形になりました。研究室の教授からも、この人と会って写真を撮ってこい、といったようなミッションが与えられ、その人の発表のセッションに参加し、終わった後に話しかけに行くなど、とにかくソーシャライズに時間を使ったのを覚えています。これは 2019 年の CHI 参加の体験とは大きく異なるものでした。当時は全てのセッションに参加してきちんと全発表のメモを取っていた一方で、あまり他の人とは関わっていませんでした。どちらの参加スタイルにもそれぞれ良いところがありますが、郷に行っては郷に従えて、今後も諸先輩方が大事だと教えてくれたソーシャライズに注力してみようと思っています。(もちろん論文のキャッチアップは自分でやらないといけません...)

2 日常

ピッツバーグは冬がとても寒く雪も多いので、ウィンタースポーツが盛んです。アイススケートやスキーなどに頻繁に行っていました。スキー場まで車で 1 時間弱で行ってしまうのは、利点だなと感じました。日本のようにスキー後に温泉に浸かる、といった文化がないのが少し残念です。

運転と知らない街に行くのが好きなので、ロードトリップは良いリフレッシュになりました。東海岸でピッツバーグから近いところということで、ワシントン DC に桜を見に行ったり、ロードアイランド州を巡ったりしました。マンハッタンでは年末にサンディエゴを案内してくれた船井財団で UCSD の古賀さんとたまたま遭遇し、近況のキャッチアップをしました。引き続き Life を Enjoy されていました。

最後に、ここ最近では NBA 観戦が研究の息抜きでした。6 月はプレーオフのクライマックスのため、とても盛り上がっていました。スポーツバーや TV で観戦をしていましたが、どうしても決勝戦が見たいと思い、ボストンまで足を運んで生で観戦しました。試合は Golden State Warriors 対 Boston Celtics で、決勝は Warriors を推していました。自分が観戦した Game 4 では Warriors のエースである Stephen Curry 選手が大活躍してチームを勝利に導いた劇的な試合で、観に行っても良かったと思いました。研究界の Stephen Curry になって、遠い未来に向かってブザービートを決めたいです。

3 最後に

渡米してから 10 ヶ月ほどが経過して、だいぶ生活にも慣れてきました。船井財団のご支援のおかげで、生活基盤が安定し、楽しみながら博士課程を行うことができいております。改めて財団の皆様へ感謝申し上げます。